

(様式第1号)

競争参加資格確認申請書

令和 年 月 日

株式会社 グッドライフ
代表取締役 山田裕太郎 殿

住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

年 月 日付けで公告のありました (仮称) きらら みかげの里 新築工事に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。
なお、成年被後見人及び被保佐人並びに破産者で復権を得ないものでないこと並びに添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 競争参加資格確認資料 (別記様式第4号)
- 2 競争参加資格の裏付資料 (入札公告において、競争参加資格確認申請に併せ提出を求めているもののみ)

競争参加資格確認資料

商号又は名称

(1) 対象工事に係る格付け等級		等級			
(2) 対象工事に係る年間平均完成工事高		億円			
(3) 同種（類似）工事で、かつ、同規模以上の工事の施工実績	工事名				
	工事場所				
	発注機関名				
	契約金額				
	工期				
	受注形態	単体			
	構造形式				
	規模・寸法				
	使用機材				
	特記事項				
(4) 技術者の資格・経験	現住所		氏名	年齢	
	所属会社・勤務課所				
	資格(名称・取得年・登録番号)				
	工事 経験 の概 要	工事名		発注機関名	
		工事場所		契約金額	
工期		当時の役職			
工事内容					
(5) 建築業法に基づく本店の所在地					
(6) 会社更生法又は民事再生法に基づき更生手続き開始の申立がない者ではない。				無 ・ 有	
(7) 対象工事に係る設計業務等の受託者又は受託者と資本若しくは人事面において関連がある者ではない。				無 ・ 有	

(注)

- 1 公告において明示した資格があることを判断できる必要最小限の項目について記載すること。
- 2 (6)から(7)は、該当するものに○印を付すること。
- 3 この書類に次の書類を添えて提出すること。
 - ① 施工実績の確認に要する書類…工事实績情報システム（CORINS）（竣工時のものに限る。）又は契約書の写し（工事概要等の判断が困難な場合には、工事概要書等の写しを添付すること。）
 - ② 配置予定技術者の資格・施工実績の確認に要する書類
 - (ア) 資格認定証明書、監理技術者資格者証の写し
 - (イ) 工事实績情報システム（CORINS）又は現場代理人及び主任（監理）技術者等選（改）任通知書の写し
- 4 (3)同種（類似）工事で、かつ、同規模以上の工事の施工実績には、競争参加資格確認申請の受付期間の末日から起算して当該工事の契約日が公告において明示した期間内のものを記載すること。

(様式第5号)

本件責任者：氏名
担当者：氏名

連絡先
連絡先

入 札 書

工事番号

工事名 (仮称) きらら みかげの里 新築工事

工事場所 茨城県桜川市真壁町桜井字事吉638番1の一部他1筆

入 札 金 額	
------------	--

設計図書及び実地を調査のうえ、上記のとおり入札します。

年 月 日

住 所

商号又は名称

氏 名

印

株式会社 グッドライフ
代表取締役 山田 裕太郎 殿

- 1 消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を記載すること。
- 2 金額の前に「¥」の記号を付すこと。
- 3 不要の文字は消すこと。

工 事 費 内 訳 書

（工事名称）〇〇〇棟新築工事

（商号又は名称）

（代表者名）

印

工事区分・工種・種別・細別・規格	数 量	単 位	金 額	摘 要
直接工事				
直接仮設工事	1	式	7,313,800	
土工事	1	〃	23,265,025	
地業工事	1	〃	395,836	
コンクリート工事	1	〃	15,700,553	
型枠工事	1	〃	17,292,397	
鉄筋工事	1	〃	13,350,138	
鉄骨工事	1	〃	4,730,145	
既製コンクリート工事	1	〃	957,402	
防水工事	1	〃	3,632,152	
タイル工事	1	〃	2,634,231	
木工事	1	〃	4,345,543	
金属	1	〃	12,656,937	
雑工事	1	〃	15,340,000	
直接工事費計			121,614,159	
			121,614,000	
共通費				
共通仮設費	1	式	9,026,000	
現場経費	1	〃	15,232,000	
一般管理費等	1	〃	19,140,000	
共通費計			43,398,000	
合 計			165,012,000	
見積価格			165,010,000	

※作成にあたっては、裏面「工事費内訳書作成に関する注意事項」に留意すること。

(裏 面)

「工事費内訳書作成に関する注意事項」

1 工事費内訳書は、入札（見積）書に記載する見積金額の内訳を記載するものであり、適切な原価計算に基づき積算した結果を記載するものとする。

2 A4版（縦使い又は、横使いいずれでも可）とする。また、複数枚になってもよい。

3 工事費内訳書は、作成日、工事名称、商号・代表者名（印）を記した表紙を別葉とすることができる。

ただし、閲覧用図書の工事概要書（写しを含む。）あるいは、見積書を表紙として使用してはならない。

4 最下欄の見積価格は、入札（見積）書の見積金額と一致していること。

5 内訳は、各工事の閲覧用図書に参考資料として添付されている本工事費内訳書の細別・規格程度まで記載することを目安とする。

（閲覧用図書の工事数量総括（内訳表）（種別及び数量の一式レベル）よりも詳細な内訳であることに十分留意すること。（ただし、閲覧用図書の工事費内訳書の数量欄が一式表示である場合は、この限りでない。））

6 当該工事の閲覧用図書の参考資料として添付されている本工事費内訳書を利用して単価、金額欄を記入したものを添付してもよい。

この場合、工事価格欄の摘要欄に、「見積価格（入札書の見積金額）」と記入するものとする。なお、見積価格は、消費税相当額を含まない額とすること。

7 工事費内訳書は、積算の内訳を明らかにするものであることから端数処理の場合を除いて、「値引き」や「割引」など理由のない減額項目を記載しないこと。

8 工事費内訳書の記載に不備等があったときは、説明を求める場合がある。